

まちの診療所、開設して20年

黒坂診療所20周年記念イベント



資料を用いてわかりやすく解説する孝田病院長

9月25日、町公民館で、「黒坂診療所20周年記念イベント」(日野病院組合、町主催)が開催されました。

黒坂診療所は、町公民館の一室を利用し、平成17年に開設。今年20周年を迎えました。当日は、記念講演が行われ、鳥取大学地域医療学講座の大塚裕真先生と、日野病院の孝田雅彦病院長が健康について講演を行いました。孝田病院長は、嗜好品とサプリの賢い選び方について、含まれる成分や効能などをわかりやすく解説しました。会場内では、他にも健康相談や体操など多くの催しものが行われ、大変にぎわいました。

交流学习で秋の実りを実感

日野高校と日野学園が稲刈り交流



日野高生と一緒に刈った稲をハデかけ

9月11日、日野高校黒坂施設で、日野学園5年生14人と日野高校アグリライフ系列9人が、稲刈り交流を行いました。

この交流は、児童と高校生が交流し一緒に体験することで、お互い学び合い、成長することを目的としています。当日は、児童が稲を刈り、高校生が束ね、ハデかけを行いました。お互いに協力して作業が進んでいき、稲刈りに慣れていない生徒たちも、後半にはスムーズに作業していききました。

児童に手を貸す高校生の姿も見え、実のある交流となりました。

町の子育て応援事業に活用を

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

9月17日、町役場で、企業版ふるさと納税感謝状贈呈式が行われました。

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは、地域再生法の認定地方公共団体が実施する事業に対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置を受けることができる制度です。

この度、株式会社テレプラザ(足田憲昭代表取締役社長)から寄附をいただいたため、町から感謝状が贈られました。



感謝状を手にする足田代表取締役社長



ポイントの対象となる子育てイベント

今回いただいた寄附金は、子育て世帯の支援策の一つとして新たに取り組む「日野町子育て応援ポイント」事業に活用します。

《企業名》株式会社テレプラザ
代表取締役社長 足田憲昭
《寄附年月》令和7年6月
《寄附金額》50万円
《事業内容等》山陰両県で7店舗のドコモショップを運営。行政と連携したフレイル予防のスマートフォン教室の開催、デジタルデバイス解消への支援など。



ドキドキわくわくのポニー乗馬体験

児童と大学生が力を合わせ大盛況 わくわくえんにち祭り・移動動物園

9月21日、日野学園校庭で、「わくわくえんにち祭り」が開催されました。日野学園の児童が店長を務め、鳥取大学の学生団体「ばばのぼプロジェクト」がサポーターし、かき氷やジュース、ヨーヨー釣りなどの店を出店。多くの家族連れでにぎわいました。

また、移動動物園「日野学園に大山トム・ソーヤ牧場がやって来る！」（黒坂フェスタの会）も同時開催。ヒツジやウサギと触れ合えたり、ポニーの乗馬体験も行われるなど、子どもたちに大人気でした。



オロチと対峙するスサノオノミコト

これまでを振り返り、伝統の部活をこれからも 鳥取県日野高等学校郷土芸能部30周年記念公演

9月13日、町文化センターで、「鳥取県日野高等学校郷土芸能部30周年記念公演」が行われました。

記念式典の部では、現部長や部のOBなどが登壇し、部への思いを語りました。また、元郷土芸能部顧問の小谷博徳さんが、部の成り立ちから、大会で活躍するために行った工夫、初期の部活の様子などを話しました。

記念公演の部では、鳥取荒神神楽研究会と日野高校郷土芸能部の演舞が披露され、会場からは大きな拍手が送られました。



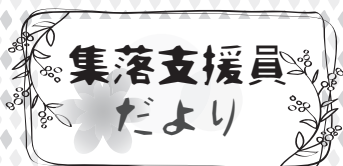
「幽霊滝」と呼ばれる龍王滝

“幽霊滝”にまつわる物語を学ぶ 小泉凡さんが小泉八雲由来の地を訪問

9月26日、島根県立大学短期大学部名誉教授の小泉凡さんが、学生と共に滝山公園（中菅）を訪問しました。

滝山公園にある龍王滝は、小泉八雲の作品集「骨董」の一篇「幽霊滝の伝説」で、幽霊滝として取り上げられています。小泉八雲のひ孫にあたる小泉凡さんは、毎年授業の一環として学生を連れて来訪し、地域の歴史や自然を学んでいます。

当日は、地域の皆さんがイノシシ肉のバーベキューや味噌汁、新米のおにぎりなどを振る舞い、交流を深めました。



SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



8月31日、根雨駅長の谷村さん立会いのもと、15人が参加して上菅駅の清掃作業を行いました。跨線橋の天井から落ちて積もった錆びついた鉄くずやクモの巣を取り除き、ここ数日の雨で背丈が高くなった駐車スペースやホームの雑草を刈り取りました。

「できることをやらせて下さい」と小さな草刈り鎌でフェンス下の草を黙々と刈る普段は見かけないお母さん。後で聞いた話では、亡くなられたご主人が、長く上菅駅で勤務されていたそうです。そういえば、毎日上菅駅の清掃を行うお父さんも、「お爺さんが上菅駅で勤務して自分たちを育ててくれた。その恩返しです」と話されていました。それぞれの思いが詰まった上菅駅がきれいになりました。